

～～第8749回～～

立山三山

～R1. 8. 31－9. 2～

列島に長く伸びた前線の影響が心配されたが、立山方面の直近の予報が回復したのを確認し、8月31日5:00島田を1台(5人)で出発する。扇沢駐車場に8:45到着、有料スペースは50%程だった。立山黒部アルペンルートは団体客が多く登山客は少なかった。室堂ターミナル(2420m)に10:55到着。建物前の大きな「立山」の石碑の前で立山をバックに写真を撮り、近くで昼食を済ませた。日差しは強いが日が陰ると涼風が吹いた。室堂平は一面イワイチョウの黄葉とチングルマの綿毛で包まれていた。11:35室堂山展望台へ向け出発する。途中の道沿いにはシラネニンジン・ワレモコウ・キンコウカ等がたくさん咲いていた。展望台からは立山カルデラの向こうに薬師岳や赤牛岳が見え、その先の北アルプスは雲の中だった。浄土山登山口に戻り岩石の急坂を登る途中、雷鳥が一羽眼前に姿を見せてくれた。「軍人霊碑」の脇を通り富山大学の施設がある台地状の山頂(2831m)に14:25着いた。眼下の一ノ越山荘から明日踏破する立山連山の雄大な縦走路を見ながら下り、15:10山荘に着いた。八畳間に女性4人、六畳間に私1人が入った。直近の悪天候の為かキャンセルが多かった様で、18:00の夕食は25名程だった。屋内に水洗トイレが完備され施設状態は良かった。夜半強風が荒れていたが朝は静まり、予報通り晴天になった。朝食後7:00出発する。タテヤマリンドウの白い花が咲く岩石の間をジグザグに登る。左手に室堂平を右手に後立山連峰から北アルプスを眺めながら8:15雄山山頂(3003m)に着く。ツアーの団体に交じって山頂峰神社に参拝し今回の安全登山を祈念した。大汝山への道は人も少なくなり遠く剣岳の頭を見ながら歩く。大汝休憩所の手前から右手に入り少し岩石を登ると9:30立山連峰最高峰の大汝山山頂(3015m)に立つ。眼下に黒部湖と後立山連峰が一望できた。女性達は休憩所で甘味を食す、以後の頑張りに期待。10:30富士ノ折立山頂(2999m)。此処も大汝山より少し高い岩石の頂上で、登山者の多いときは行列になるだろう。此処から大走り分岐まで200m程下り11:30真砂岳(2861m)の標識。東側に内蔵助カールの底に昨年認定された氷河があった。火山ガスの臭いを感じながら下った鞍部付近で昼食にした。相変わらず行きかう登山者は少ない。12:50小さな神社の有る別山(2874m)に着く。10分程の北峰から迫力ある剣岳全景を見て、5年前に登った時を想った。別山から西へ下り13:40剣御前小屋の建つ別山乗越に着く。此処から雷鳥平へは急下降だ。浄土沢を渡りキャンプ場を通るとき今日歩いた一ノ越山荘から立山連山の縦走路を一望し全員で達成感を味わった。しかし此処からみくりが池までの上りが予想以上に長く、温泉に入れる事を楽しみに頑張ってもらった。16:40みくりが池温泉着。ここはターミナルに近くて観光の宿泊客が多かった。8人の相部屋で個人別のカーテンで仕切られている2段ベットの上段に女性4人、私は下段に入った。温泉は8:00から9:00以外は入浴自由で、トイレは温水温便座で快適だった。19:00の夕食後就寝、長い一日だったが全員無事に踏破できた事に感

謝した。翌朝は風が強く霧で視界も悪かった。8:30 出発し立山自然保護センターで、9:00 から一時間の自然観察ツアーを申し込み、私達 5 人でナチュラリストによる室堂周辺の自然解説を受けた。ミネウスユキソウ・ウメバチソウ・オヤマリンドウ・アキノキリンソウ・タテヤマアザミ・シラネニンジン等の花を観た。室堂を 10:15 に出て扇沢に 11:55 着。途中道の駅まつかわで食事と買い物をして帰路に着いた。奇跡的な 2 日間の晴天に恵まれ事故も無く、多くの高山植物とライチョウにも会えた立山三山は私の記憶に残る山行になった。

参加者：5 名（島田）

天気：31 日晴れ・1 日晴れ・2 日霧・強風

地図：立山・劔岳

コースタイム：島田 500＝扇沢駐車場 845-930＝室堂 1055-1135…室堂山展望台 1255…浄土山 1425…一ノ越山荘 1510-700…雄山 815-55…大汝山 930-1010…富士ノ折立 1030…真砂岳 1135…(昼食)1155-1215…別山 1245-1300…別山乗越 1340…雷鳥沢 1515…みくりが池温泉 1640-830…立山自然保護センター900-1000…室堂 1015＝扇沢駐車場 1155＝道の駅まつかわ 1230-1325＝島田 1700

記録：島田支部 T.S



立山をバックに記念写真



雷鳥一羽



一ノ越山荘から立山連山



イワイチョウの黄葉とチングルマの綿毛



雄山山頂から別山への縦走路



トウヤクリンドウ



ミネウスユキソウ



オヤマリンドウ